

**製品名: 肝臓カルボキシルエステラーゼ 1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe87777**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:63 kDa; Observed MW:63 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	Liver Carboxylesterase 1
別名	CEH; REH; TGH; ACAT; CE-1; CES2; HMSE; SES1; HMSE1; PCE-1; hCE-1
遺伝子ID	1066
SwissProt ID	P23141
免疫原	ヒト肝カルボキシルエステラーゼ1の合成ペプチド

**背景**

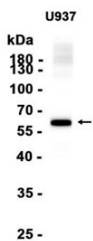
この遺伝子は、カルボキシルエステラーゼ大ファミリーのメンバーをコードしています。このファミリーのメンバーは、コカインや

ヘロインなどの様々な生体外物質、およびエステル、チオエステル、またはアミド結合を持つ内因性基質の加水分解またはエステル交換反応を担っています。脂肪酸アシルおよびコレステロールエステルの代謝に関与し、血液脳関門系において役割を果たしている可能性があります。この酵素は主要な肝酵素であり、肝薬物クリアランスに作用します。この遺伝子の変異はカルボキシルエステラーゼ 1 欠損症を引き起こします。この遺伝子には、3つの異なるアイソフォームをコードする3つの転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2010年6月]

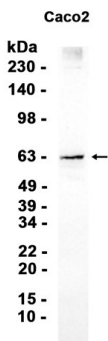
## 研究分野

-

## 画像データ



肝臓カルボキシルエステラーゼ 1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した U937 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。



AMRe87777 を 1:2000 で使用した Caco2 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。